

ひとつのわ会議・三者懇談会

1月30日(火)の午後から、いこい荘で「ひとつのわ会議」を行いました。この会議は、児童と先生、保護者、CS委員(地域)の四者が集まり、「こんな会見小学校にしたい」「そのためにこんなことをしたい」ということを話し合うことを目的としています。ここ数年は、コロナ禍で中止したり、代表児童だけが参加したりという形でしたが、今回は、来年度会見小をひっぱっていく5年生全員が参加しました。

まずは、子どもたちから会見小学校の良いところや課題、こんな会見小にしたいという意見が出されました。それについて、大人からもいろいろな意見が出されました。

子どもたちは、緊張もあったようですが、自分の考えをしっかり言っていました。また、お家の人や地域の方が、自分たちのことや会見小学校のことを応援してくださっていることもよくわかりました。

「ひとつのわ」の「わ」は、「輪・話・和」の意味があります。子どもと大人が輪になって、いろんな話をし、心が和みました。

話し合いが終わる頃には、すっかり打ち解けて、雑談をしたり、しりとりやじゃんけんをしたりしているグループもありました。子どもたちにとって、大人と意見交流することはとても良い経験になりました。

子どもたちが帰ったあと、三者懇談会を行いました。子どもたちから出た意見(右ページ参照)をもとに、学校や家庭、地域で具体的にどんなことができるか話し合いました。

会見小学校の強みであるコミュニティ・スクールで、子どもたちを地域全体で育む「地域とともにある学校づくり」と、地域や子どもをめぐる課題解決のための「学校を核とした地域づくり」を進めていきたいと思ひます。



【子どもたちから出た意見】

会見小のよいところ	会見小の課題
○仲が良い。	△ろうかを走る。
○協力ができる。	△さわがしい。
○元気がいい。	△言葉づかい
○ノリがいい。	△ルール・マナーが守れない。
○やさしい。	△片付け。
○人なつっこい	△あいさつ
○楽しい（いろいろな遊びができる。）	△物を大切に使う。
○あいさつができる。	△目上の人に対する態度
○まじめに取り組む。	△人によって態度をかえる。
○地域との距離が近い。	△スマホ・ゲームの使い方
○いろいろな体験ができる。	△差別やいじめがある。
○外の景色がいい。	
○図書館の本が充実している。	
○給食がおいしい。	



どんな会見小にしたいか	
◎ルールを守れる	◎みんなが楽しいと思える
◎人の話をきちんと聞ける	◎気づかいができる
◎言葉づかいが良い	◎助け合いができる
◎大きな声であいさつができる	◎地域の人と何でも話ができる
◎野球ができる	◎地域の人に迷惑をかけない
◎みんながやさしい	◎けじめをつける（勉強、遊び、そうじ）

そのためにどんなことをしたいか・大人に手伝ってほしいこと

- ・悪いことを見つけたら注意してほしい。
- ・楽しいことをいっしょにしたい。（スポーツ、遊び、学習、行事）
- ・あいさつができるように、学校の前に立ってほしい。（あいさつのお手伝い）
- ・地域の人や家の人と交流したい。
- ・野球のできる環境をつくってほしい。

～令和5年度を振り返って～



令和5年度は、コロナによる制限もなくなり、各種行事への協力、学校運営へのアドバイス、子どもたちの学習への参画など、地域の子どもの成長に様々な関わってきました。新たな取組として、「ぴかぴかプロジェクト」も企画し、たくさんの皆さんにご協力いただきました。残念ながら、3回目は天候の都合で中止になりましたが、来年度も、「地域の子どもたちを地域で育てる」をモットーに活動を続けて参ります。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。